

暮らしを楽しく快適にするリフォームマガジン

DAIKEN
REFORM
MAGAZINE

ダイケンリフォームマガジン



部屋の防音を考える。目的に合った遮音と用途に合った響きを得て快適なサウンドライフを！

ライフスタイルの多様化とともに、趣味の世界をより深く楽しみたいという人が増えています。

映像や音響の分野ではデジタル技術の進化により、現代では自宅にいながら映画館やコンサートホールに近いクオリティで映画や音楽を視聴することが可能です。

そのため、新築やリフォームの際に自宅に防音室をつくって、パーソナルなシアターライフを楽しみたいという映画好き、音楽好きの方は多いのではないのでしょうか？

ホームシアターをつくるには遮音対策が欠かせません。また、快適なサウンドライフを楽しめる空間にするには、遮音だけでなく、室内の音の響きをどう調整するかも重要になります。

そこで今回は、自宅に防音室をつくりたい方向けに、事前に知っておきたい情報をお教えいたします。

気になる室内での音の響き 自分に合った防音室は

自宅にホームシアターやオーディオルームなどの防音空間をつくるとなれば、何にこだわるべきでしょうか？

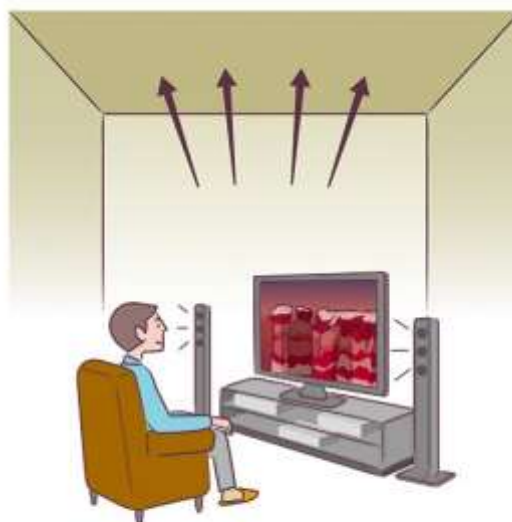
まず、大切なのはこの空間をどのような目的で使いたいのか、はっきりさせることです。

例えば、映画を観るための部屋にしたい、好みの音楽を聞きたい、思い切り楽器を演奏したりカラオケで歌ったりしたい、などによって、音の響き方の調整方法や遮音性能のグレードが違って来るからです。

単に音楽を聴きたいといっても、クラシックとロック・ジャズの違いで、適した音の響き具合は異なるのです。このように目的や好みによって、音の響き具合をどう調整するかで快適なサウンド空間の作り方が決まるわけですが、サウンド空間における音の響き具合は「ライブ」と「デッド」のふたつのタイプに大別されます。



ライブ（＝音の響きが長い状態）



デッド（＝音の響きが短い状態）

まず、「ライブ」は音の響きが長い状態をいい、クラシック音楽を聴くためのオーディオルームやカラオケルーム、趣味で行う楽器の演奏室などに適しています。

これに対し、「デッド」は音の響きが短い状態をいい、ロックやジャズのためのオーディオルーム、映画などを観るためのシアタールーム、練習用の楽器演奏室などに向いています。

DAIKENの住宅向け建築音響・防音関連建材なら、ライブ気味もしくはデッド気味の調整に加え、遮音性能についても好みでセレクト可能です。

防音室のグレードは、ちょっと大きな音を出す部屋向けの「スタンダード★★防音（遮音性能 40db）」と、本格的に大きな音を出す部屋向けの「プレミアム★★★防音（遮音性能 50db）」の2つのグレードから選ぶことができ、さらにさまざまな目的と利用の仕方に合わせたカスタマイズができます。

今回はスタンダード防音向けの使用目的シーンに合わせた活用事例を紹介いたします。

プロが認めた「防音ドア」！ これを活用したスタンダードな防音室づくり



DAIKENの防音用建材のなかでも、特に注目されている製品があります。

それは、「ホームシアターグランプリ 2020」防音ドア部門において金賞を受賞した『防音ドア アドバンス（A）防音タイプ』です。ドアの剛性が高く、1点ロックのグレモン錠と大型パッキンにより、部屋の気密性をしっかりと保てるのが特長で、4種類のデザインからお好みのタイプを選ぶことができます。

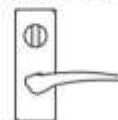
●気密性を確保する1点ロックのグレモン錠

アドバンス（A）防音タイプは1点ロックのグレモン錠と扉内部の高剛性フレームにより、高い気密性を確保しています。また大型のパッキンも採用しています。



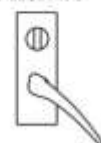
レバーハンドルの向き

ドアを閉めた状態



ドアを開けた状態

レバーハンドルを下げて扉を開きます。



「ホームシアターグランプリ」では、毎年ホームシアターのプロによってジャンル別に最優秀とされる製品が選出されています。そして、DAIKEN 製品は 2010 年以來 11 年連続で金賞を受賞しています。

たとえば、専門家の高い評価を得ている『防音ドア [アドバンス(A)防音タイプ]』を活用して、「スタンダード★★防音」で防音室をつくりたい場合に使用する主な建材は下記のようになります。

天井	天井	壁
オトテン(モダン)アコースティック ブロック<ソフトブラック>	遮音パネル12.5	オトカベL91
床	開口部・他	換気システム
遮音マットS09	防音ドアA00	<エアスマート>DKファンNK10タイプ 11型 A防音フード12型(1穴用)

これらの建材を使ってできる防音室のイメージがこちらとなります。



上記は一例ですが、DAIKEN は国内最大の防音建材メーカーでもあるため、長年の実績とノウハウを活かしてさまざまなタイプの防音室づくりをサポートすることが可能です。

防音室を体験しに、DAIKEN のショールームへ!!

生活スタイルや趣味の楽しみ方が多様化した現代、「音」は快適な住まいづくりの上でも重要な要素です。

DAIKEN では、映像やサウンド、楽器演奏などを楽しむための本格的な防音室から、耳障りな音を抑えた生活空間まで、お客様のニーズにあわせた空間づくりをお手伝いいたします。

また、防音構造の部屋がどれだけの遮音性能を持ち、音が室内でどのように響くのかを確認できるように、全国 9 カ所にショールームを設けています。

経験豊富な専任スタッフといっしょにリフォームプランを検討できる商談&体験型スペー

スとなっているので、夢実現への第一歩として一度のぞいてみてはいかがでしょうか？

なお、土日のご来館やアドバイザーによるご案内・ご相談をご希望の方は事前のご予約をおすすめします。

お近くにショールームがないという場合は、DAIKEN サウンドデザインのホームページでもお手元のヘッドホンを使って防音効果をシミュレーションできます。

気になる方は、以下のWEBサイトにぜひアクセスし「防音グレードを確認する」に入り、防音シミュレーションで試してみてください！

防音効果シミュレーション

<https://www.daiken.jp/product/lp/sounddesign/grade.html>

DAIKEN 防音を体感できるショールーム

<https://www.daiken.jp/product/lp/sounddesign/cplaza.html>

また、あわせて下記の記事もご参照ください。

部屋の“防音”を究める。ホームシアターから自宅スタジオまで趣味を満喫

<https://www.daiken.jp/reform/article/20190927d.html>

“防音”で快適生活！ 楽器を演奏したい、犬が吠える、足音が気になる

<https://www.daiken.jp/reform/article/20190901d.html>

【DAIKEN リフォームマガジン 2020年6月号掲載】